

目次

平成17年度土木学会賞受賞事業・技術

技術賞 (Ⅰグループ)	利便性および安全性の抜本的な改善を図った既設地下駅の大規模改造 ―阪神電鉄本線春日野道駅改造工事―	1
	阪神電気鉄道(株)、鹿島建設(株)、中央復建コンサルタンツ(株)	
技術賞 (Ⅰグループ)	不良地山における日本一の超大断面道路トンネルの建設 ―箕面有料道路 箕面トンネル (南工区)―	2
	大阪府道路公社、熊谷・間・竹中土木・大豊・森本共同企業体	
技術賞 (Ⅰグループ)	わが国初の全断面 TBM による長大斜坑掘削と高張力鋼 HT100 を用いた 水圧鉄管の施工 ―世界最大級の揚水式発電所 東京電力(株)神流川発電所水圧鉄管路工事―	3
	東京電力(株)、奥村組・フジタ・錢高組共同企業体、三菱重工業・酒井鉄工所共同企業体	
技術賞 (Ⅰグループ)	世界最長陸上トンネルの施工 (東北新幹線 八甲田トンネル)	4
	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 東北新幹線建設局、 佐藤・三井・地崎・田中共同企業体、清水・フジタ・伊藤・工藤共同企業体、 鹿島・戸田・真柄・穂積共同企業体、奥村・青木・森本・寺下共同企業体、 飛鳥・大日本・株木・鹿内共同企業体、前田・竹中・福田共同企業体	
技術賞 (Ⅰグループ)	わが国初の鉄道トンネルへの全断面 TBM 工法の適用に関する設計・施工技術 ―吾妻線付替ハッ場トンネル―	5
	東日本旅客鉄道(株) 上信越工事事務所 清水建設(株)・西松建設(株)・(株)間組共同企業体	
技術賞 (Ⅱグループ)	21 世紀にふさわしいまちづくりと一体的に整備した鉄道新線 ―Ⅰ T 拠点を結ぶつくばエクスプレスの建設―	6
	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部 東京支社、首都圏新都市鉄道(株)	
技術賞 (Ⅱグループ)	新潟県中越地震で被災を受けた高速道路の早期復旧	7
	東日本高速道路(株) 新 潟 管 理 局 東日本高速道路(株) 湯沢管理事務所 東日本高速道路(株) 長岡管理事務所	
技術賞 (Ⅱグループ)	事業連携のメリットを生かした新北九州空港整備プロジェクト	8
	国土交通省 九州地方整備局、国土交通省 大阪航空局	
技術賞 (Ⅱグループ)	苫田ダムの建設 ―新たな試みによるコスト縮減と自然環境にやさしいダムづくり―	9
	国土交通省 中国地方整備局	
技術賞 (Ⅱグループ)	技術力を結集した震災の早期復旧工事 ～新潟県中越地震 鉄道構造物の復旧～	10
	東日本旅客鉄道(株)	
環境賞 (Ⅰグループ)	廃棄物をリサイクルした高保水性セラミックスブロックを使用した保水性舗装	11
	エンテック(株)	
環境賞 (Ⅰグループ)	環境への負荷低減に配慮した特殊膜濾過による新しい高度清澄濁水処理システム	12
	清水建設(株)、(株)睦商事	
環境賞 (Ⅰグループ)	原位置バイオレメディエーション技術を用いた汚染地盤の環境修復技術の開発	13
	東邦ガス(株)、大成建設(株)	

まえがき

この度、土木学会賞を受賞された方々におかれましては、心よりお祝い申し上げます。

土木学会表彰制度は、大正 9 年に土木賞が設立され、昭和 24 年に学会賞、奨励賞の二本立てとなりました。

その後、吉田賞 (昭和 36 年)、功績賞および技術賞 (昭和 40 年)、田中賞 (昭和 41 年) が創設され、功績賞、技術賞、論文賞、論文奨励賞、吉田賞、田中賞の 6 区分となりました。

さらに、昭和 58 年に技術開発賞と著作賞 (平成 3 年に出版文化賞と改称) が、平成 5 年に国際貢献賞、技術功労賞が創設され、学会賞は現在の 10 区分となりました。

表彰委員会では、このような歴史のある土木学会賞のうち、事業関連の各賞について、受賞事業・技術を多くの方々にご紹介させていただく目的で、ここに「土木学会賞受賞事業・技術」紹介冊子を作成致しました。この冊子が優れた事業・技術の奨励、普及につながることを祈念するものであります。

Preface

On behalf of Japan Society of Civil Engineers, I would like to extend my heartfelt congratulations to all recipients of the JSCE Awards.

Japan Society of Civil Engineers (JSCE) instituted a JSCE Award system with the establishment of the Civil Engineering Award in 1920, and developed it twofold with the establishments of the JSCE Award and Incentive Award in 1949.

Afterwards, Yoshida Award was established in 1961, Distinguished Service Award, and Outstanding Civil Engineering Achievement Award in 1965, and Tanaka Award in the following year. The JSCE Award came to consist of 6 divisions.

Since then, the Society has expanded the system by establishing more divisions in order to promote the civil engineering profession: Innovative Technique Award in 1983, Book Award, which was renamed as Book of the Year Award in 1991, International Award and Technical Service Award in 1993, and the award system has 10 divisions in total as it is now.

The JSCE Awards Committee has published the booklet of “JSCE Awards: Awardees and Their Outstanding Achievements” with the purpose of introducing some highly innovative project-related technologies and projects among the notable Award recipients’ achievements. The Committee sincerely hopes that by presenting the feats of civil engineers in this booklet, they will encourage the civil engineering community to strive for further advancement of civil engineering technology and projects and promote a better knowledge of civil engineering among the public as well.

平成 18 年 5 月

社団法人 土木学会

表彰委員会 委員長 三 谷 浩

Hiroshi MITANI, Dr. Eng.

Chairman, the Awards Committee

Japan Society of Civil Engineers

